

第30回東京国際映画祭におけるアジア関連の取り組み

主なイベントスケジュール（予定）

■10月25日（水）オープニングカーペット@六本木ヒルズアリーナ

昨年は総数377名が歩行。本年度は記念すべき第30回という事もあり、より華やかなゲストを招聘すべく検討中。

■10月25日（水）オープニングセレモニー@EXシアター六本木

■10月25日（水）オープニングパーティー@グランドハイアット東京

■11月3日（金・祝）クロージングセレモニー@EXシアター六本木

■11月3日（金・祝）クロージングパーティー@アカデミーヒルズ49タワーホール

コンペティション部門におけるアジア作品の上映

第29回では、「ダイ・ビューティフル」（フィリピン ワールドプレミア 最優秀女優賞、観客賞受賞）「ミスター・ノー・プロブレム」（中国 ワールドプレミア 最優秀芸術貢献賞受賞）「シェッド・スキン・パパ」（中国＝香港 ワールドプレミア）を上映。第30回も同様に優れたワールドプレミア作品の獲得を目指す。

アジアの未来部門の実施

第29回では、10作品（うち日本映画1本）を上映。作品賞は「バードショット」（フィリピン ワールドプレミア）、国際交流基金アジアセンター賞は監督アランクリター・シュリーワースタウ（「ブルカの中の口紅」インド ワールドプレミア）が受賞。また、「底辺から走り出せ」（中国 インターナショナルプレミア）は上海国際映画祭推薦作品。第30回も10作品を予定。

国際交流基金アジアセンターpresents CROSSCUT ASIAの実施

第27回はタイ、第28回はフィリピン、第29回はインドネシアを特集。第30回もどのような座組で行くか、国際交流基金アジアセンターと協議中。10作品を予定。

ワールドフォーカス部門におけるアジア作品の上映

第29回は「メコン大作戦」（香港＝中国）を始め、8作品を上映。第30回も同規模の上映を予定。

アジア三面鏡2018の取り組み

2018年の第31回東京国際映画祭でのワールドプレミア上映に向けて準備中。